

県立磯原郷英高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- 豊かな人間性とひたむきに物事に取組む姿勢の育成
- 知・徳・体の調和と自ら成長し続ける資質・能力の育成
- 個性や能力を伸ばし、自己実現を目指す資質・能力の育成

総合的な探究の時間の評価

| 目標と育成する資質・能力 | 学習評価 | 配慮を必要とする生徒への支援方法 |
|--|---|---|
| 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行い、自己の在り方生き方を考えながら、社会や自己と一体不可分な課題を自ら発見し解決していく過程を通じて、自らの人生と社会の未来をたくましく切り拓く資質・能力（未来開拓力）を育む。 | <p>【知識・技能】 探究の過程を通して、地域社会における自己の役割を見出し、課題解決の基盤となる概念を形成することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 探究の過程を通して、自身の興味・能力・適性を多角的に分析し、論理的かつ感性豊かに発信することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な他者と協働する中で、知・徳・体の調和を重んじ、「ひたむきに」試行錯誤を繰り返し、粘り強く課題解決に取り組もうとしている。</p> | 全体計画には、活動の見通しを視覚化しスモールステップで提示する工夫を組み込む。情報の整理には ICT や思考ツールを活用し、読み書きや発信の負担を軽減させる。グループ活動では役割の分担を明確にし、状況に応じた個別学習を行う多様な表現方法とプロセスを尊重する評価を行い、全生徒の学びを支える仕組みを構築する。 |

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

| 学年 | 主たる探究課題及び学習活動 | 外部との連携 | 育成を目指す生徒像 |
|-----|--|---|---|
| 1 年 | <ul style="list-style-type: none"> ●グロースナビを活用したスタディログの蓄積 ●学びに向かうための技能を学ぶ。 ICT スキルの向上、調査スキルの取得、問いの立て方を学ぶ ●自分と向き合い、自分を知る。 「自分史」テンショングラフの作成、ゲストティーチャーや本校教員との対話、地域探究オリエンテーシ | <p>地域人材と協働した、探究の芽となる原体験の機会創出</p> <p>外部講師による専門指導と校外フィールド探究を体系的に組み合わせ、デジタルに親しむ生徒が地域の文化・産業に直接触れ多様な大人と</p> | 自己のこれまでの歩みや価値観を深く省察することで、自らの興味・関心の源泉を明らかにできる。また、地域の自然、文化、産業等の現状を多角的に捉え、社会の中に存在する多様な事象を「自分事」として引 |

様式 1

| | | | |
|-----------|--|--|--|
| | <p>ョン、グループ発表</p> <p>●地域を知る。 地域の方々や地元企業の方々との協力の下、体験学習の実施（地域の食材を活用した調理実習他）</p> | <p>対話する機会を創出する。活動を通して、自己の在り方生き方への思索を深め、3年間の探究活動の土台となる未来開拓力の『根』を養う。</p> | <p>き寄せることができる。</p> |
| <p>2年</p> | <p>●グロースナビを活用したスタディログの蓄積</p> <p>●学びに向かうための技能を学ぶ。 ICTスキルの向上、調査スキルの取得、問いの立て方を学ぶ</p> <p>●自分と向き合い、自分を知る。 「自分史」テンショングラフの作成、ゲストティーチャーや本校教員との対話、個人探究プレゼンテーション</p> <p>●仕事に対する理解を深め、自身の適性を知る。 職種について理解する、興味のある職種を体験する（地域連携）、興味関心と進路をマッチングする</p> | <p>地域企業と連携したインターンシップの実施。 自己分析で言語化した強みや適性が、実社会でどう機能するかを検証する。地域企業での就業を通じ、自己の役割を客観視することで、自分らしい生き方と進路実現への歩みを具体化する。</p> | <p>自己のこれまでの歩みや価値観を深く省察することで、自らの興味・関心の源泉を明らかにできる。自分の得意なことや興味(内なる声)と、職業や会社のニーズを照らし合わせ、自分らしい貢献の形を模索できる。</p> |
| <p>3年</p> | <p>●自分らしい生き方を見つけ、実現に向かう。 進路探究ファイルの作成、「自分史」テンショングラフの作成、自分の強みと弱みの発見ワークショップ、職業の適正を考えるワークショップ、1分間自己PRを考え発表する、興味のあるニュース記事についてプロトタイプインタビューをする、ゲストティーチャーや本校教員との対話、自身の進路探究を振り返る、進路報告会の実施</p> | <p>ゲストティーチャーによる進路講演会の実施。 多様なキャリアを持つ社会人との対話を通じ、自己分析で得た仮説を社会の視点で検証する。先達の生き方や価値観に触れることで、自身の「自分史」を相対化し、将来の生き方を主体的に描くための指針を得る。</p> | <p>探究と進路を分断せず、一貫したストーリーとして統合することで、予測困難な社会を生き抜く「未来開拓力」を結実させ、一人ひとりが希望する進路を獲得する。</p> |